



意見交換会では、勝俣副会長が座長を務めた



主催者あいさつを述べる
内藤会長

郡内地域中小企業の振興と 組合活動のさらなる活性化を目指して

中央会は、10月15日（金）午後2時からハイランドリゾートホテル（富士吉田市）において、「第14回郡内地域組合交流会」を開催した。

当日は、郡内地域にある会員組合の役員・組合員企業（行政関係者等約百名）が参加した。

はじめに、郡内地域の役員を代表して渡辺副会長より開会のあいさつがあり、続いて内藤悦次会長が主催者あいさつを述べた。あいさつでは「米国の景気後退とEU加盟国の財政不安等による世界的経済の先行き不安や日本経済においても設備投資や個人消費など内需の低迷による経済の収縮が、地域の



富士吉田織物協
事務局長 渡辺教一氏



県燃系（工組）
理事 加々美徳一氏



上野原機械器具工業協
理事長 小俣精三氏



岳麓自動車検査事業協
理事長 半田幸久氏



駒澤大学 青木茂樹教授

中小企業に悪影響を及ぼすことが非常に心配されるが、この苦境を乗り越えるためにも、中小企業連携による組合の力で乗り切ろう、中央会ではなお一層中小企業組合支援の拡充・強化を図っていく。」と述べた。

また、丹沢博山梨県商工労働部長、大森大―山梨県富士工業技術センター所長、滝口明富士吉田市都市産業部長の3名を来賓に迎え、代表して丹沢山梨県商工労働部長より、官民一体となった地域経済振興・発展を目指す旨の挨拶の祝辞が述べられた。続いて出席した正副会長、常勤役員、郡内地域の組合を母体につく中央会役員が紹介された。

研修会では、駒沢大学経営学部市場戦略学科の青木茂樹教授が招かれ、「経験価値を創りだそう！情報化時代の地域戦略」―郡内中小企業の地位と振興の方向―をテーマに講演が行われた。青木教授は、流通システム論、マーケティング・チャネル論を専門分野としており、情報化時代の進展の解説、それらを活用しての地方戦略について聴講者に熱く提言した。氏は甲府市在住で、山梨

最後に、郡内地域の役員として勝俣副会長より閉会のあいさつがあり、出席者全員が郡内地域の中小企業の発展のため団結していくことを誓い合った。

現在、郡内地区には織物、機械金属、小売、サービス業等の会員組合が42組合あり、様々な活動を行っている。本交流会は、郡内地域の会員組合が一堂に会する場を設けることにより、組合及び中小企業者が相互に連携し、親睦を深めてもらい今後の組合活動の一助となることを目的として毎年開催されている。

第14回郡内地域組合交流会を開催



山梨県中小企業団体中央会機関誌
平成22年度中小企業組合活性化情報

11月号

2010年
第648/223号
(毎月1日発行)

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

10月の出来事

●時 事

- 5日 日銀「ゼロ金利」4年3ヶ月ぶりに復活
- 6日 ノーベル化学賞に鈴木氏、根岸氏
- 13日 チリ落盤事故、69日ぶり全員生還
- 20日 リニア「南アルプスルート」で事実上決着
円高の進行

●山梨県中央会ニュース

- 1日 組織専門委員会(全国中央会)
- 7、21、28日 農商工連携ナビゲーター育成講座
- 12日 女性部県大会
- 15日 第14回郡内地域組合交流会正副会長会議
- 16日 甲府大好きまつり
- 25日 組合青年部県大会・交流会
- 28日 全国中央会特別委員会

11月の予定

- 6日 中小企業団体ゴルフコンペ
- 10日 正副会長会議、中央会創立55周年記念式典
- 12、19、24日 農商工連携ナビゲーター育成講座④
- 18日 第62回中小企業団体全国大会(奈良県)

今月の見どころ

- 1面 駒沢大学青木教授が講演、郡内交流会を開催
 - 2面 組合員の皆様必見！全中の業務災害補償制度
 - 5面 女性部県大会開催、伝説のマナー講師平林先生が講演
農商工連携ナビゲーター育成講座が開講
 - 8面 インターンシップ体験記
- その他、各種事業案内、施策等々情報を掲載

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
TEL 055(237)3215 FAX 055(237)3216
<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp>
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

中小企業の従業員、経営者双方の 業務災害リスクに対応する新たな 「業務災害補償制度」を導入しました。

商品名は、全国中小企業団体中央会の業務災害補償制度（経営ダブルアシスト）で、主な補償内容は、役員・従業員を対象とした「死亡・後遺障害」・「入通院」の補償に加え、経営者の皆様が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る「使用者賠償責任」・「事業主費用」の補償がセットになり、安全配慮義務違反等による企業の法律上の賠償責任も補償する画期的な商品となっております。

中小企業を取り巻く事業環境は厳しさを増す一方、労災事故は増加傾向にあります。更に、平成18年4月の法改正により企業側の安全配慮義務は厳格化の方向にあり、業務災害へのリスク管理の重要性はますます高まっています。

このような状況を踏まえ、山梨県中小企業団体中央会として、「中小企業向け支援事業の充実」を目的に、既存の所得補償制度の拡充策として「経営ダブルアシスト（制度運営幹事引受保険会社：東京海上日動火災保険）」の導入を決定しました。

この「経営ダブルアシスト」は、中小企業の従業員、経営者双方の業務災害リスクに対応する補償に、全国団体のスケールメリットを活かした低廉な保険料でご加入いただける制度です。

また、本制度は売上高を基にした保険料算出により、従業員の増減時の加入・脱退手続きが不要で、パート・アルバイトなど非正規雇用者も自動的に補償対象になるなど簡便な手続きを特徴としております。

特に注目される点は、労災リスクに対する「企業防衛」を経営者の皆様にご提供できることです。近年うつ病による自殺や過労死等の新しい労災リスクが増加しており、メンタルヘルスに起因する労災において、高額な賠償責任が続出しています。経営者の皆様にとって、こうした労災リスクに対する「経営リスク」に対処することは、重要な経営課題であると言えます。

今回導入した「経営ダブルアシスト」の商品特徴をまとめると次の通りとなります。

- ①一般の加入より**最大46%**割安に加入できる。
- ②企業の法律上の賠償責任を最高1億円まで補償する。
- ③保険料は「売上高」と「業種」に基づいて算出される。
- ④従業員の増減時の加入・脱退手続きは不要。
- ⑤パート・アルバイトなどの非正規雇用者も自動的に補償対象となる。
- ⑥保険料は全額損金処理の上、満期時の保険料精算は不要。
- ⑦建設業の場合は、下請業者も補償し、「経営事項審査制度」の加点点ポイントとなる。

経営者の皆様が抱える「労災リスクに対する企業防衛策」が、使用者賠償責任部分で補償される点が、従来の業務災害補償制度ではなかった内容となっています。

今回の制度導入を機会に、従業員、経営者双方の業務災害リスクに対応する東京海上日動火災保険株式会社の「経営ダブルアシスト」の加入を検討されてはいかがでしょうか。

※この「経営ダブルアシスト」は、一般傷害保険・労働災害総合保険（使用者賠償責任保険）の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず（重要事項説明書）を良くお読みください。

2010年10月 10-T-05580

『甲府鳥もつ煮』を観光の起爆剤に！！

9月18日（土）・19日（日）の両日、神奈川県厚木市において、「第5回B級ご当地グルメの祭典！Bー1グランプリin厚木」が46団体の出展により開催され、「みなさまの縁をとりもつ隊『甲府鳥もつ煮』」がゴールドグランプリを獲得し、殿堂入りを果たした。

「B級ご当地グルメの祭典Bー1グランプリ」（通称…Bー1グランプリ）は、「B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会」（通称…愛Bリーグ）が主催する「B級ご当地グルメ」の日本一を決める大会である。

入場料は無料で、18日は17・5万人、19日は26万人、合計43・5万人の来場者数であった。来場客が複数の出展料理（価格は300円～500円程度）を食べ比べた後、自分の気に入った料理に投票（使用後の箸で行い、1膳2本を2票とし、来場客1人につき2つの料理まで投票できる）する審査方法で、『甲府鳥もつ煮』の箸の重量は42、1109で、2位の『ひるぜん焼そば』（岡山県真庭市）とは、わずか5909の差であった。

Bー1グランプリに参加するには愛Bリーグに加盟することが条件とされており、本県では、他に「大月市おつけだんごの会」おつけだんご」が会員となっている。

グランプリを獲った料理は二気に知名度が上がっており、2008年のゴールドグランプリの『厚木シロコロ・ホルモン』の経済効果は、本大会後の3ヶ月で約30億円に上ったとされる。

年々、話題性が高まっており、本大会の翌日から甲府市内の鳥もつ煮を提供する飲食店に客が詰め掛け、5倍以上の集客となった他、精肉店によっては、10倍以上の取扱量となるなど、経済効果をもたらしている。また、商品化が進んでおり、「鳥もつのはれ」や「鳥もつ」のレトルト食品などの取り引きも増加しているという。

本県の観光は、紅葉シーズンを過ぎると春の桜、桃の開花まで閑散期となる。『甲府鳥もつ煮』の効果を一いつまで持続できるのか。また、その効果を県全体の観光にまで繋げられるのか。『甲府鳥もつ煮』がオフシーズン対策の起爆剤となることが期待される。

ibuki
息吹

山梨県中小企業団体中央会
情報連絡員報告

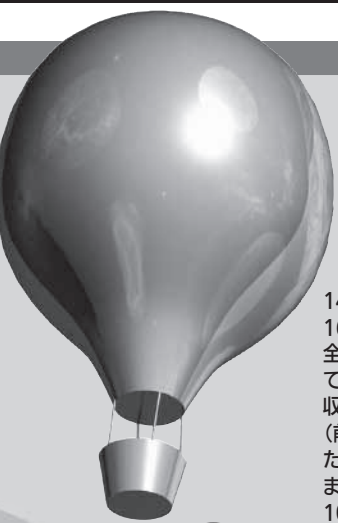
(平成22年9月分)

本県の9月の景況では、全業種のDI値が、売上高-14(前年同月比+22)、収益状況-26(前年同月比+16)、景況感-26(前年同月比+28)と前年同月比は全項目でポイントが改善している。業種別のDI値で見ると、製造業は、売上高-15(前年同月比+40)、収益状況は-20(前年同月比+20)、景況感-15(前年同月比+45)と前年同月比のポイントは改善したが、売上高の前月比では-20ポイントと悪化した。また、非製造業のDI値は、売上高-13(前年同月比+10)、収益状況-30(前年同月比+13)、景況感-33(前年同月比+17)と、製造業と同様に前年同月比においては全項目で改善しているものの、前月比売上高は、非製造業で-23ポイントと悪化しており、全体の売上高の前月比は-22ポイントの悪化となっている。政府発表の月例経済報告では、これまで「景気は持ち直してきている」としてきた国内景気の表現を「このところ足踏み状態となっている」とし、基調判断が下方修正されている。

急速な円高の影響や海外経済の減速を受けての景気の停滞が要因と思われるが、中小企業への今後の影響が懸念される。

情報連絡員による県内の9月の業況報告は、一部では売上の伸びなど好転している業種も見受けられたものの、全体的に厳しいコメントが占めており、製造業では、「受注、売上の減少」「先行きが不透明」「見通しは暗い」など不安材料あるといった報告が目立った。非製造業では、卸売業、宿泊業で尖閣諸島影響の問題による影響が出ているほか、今夏の猛暑の影響を受けている業界もある。

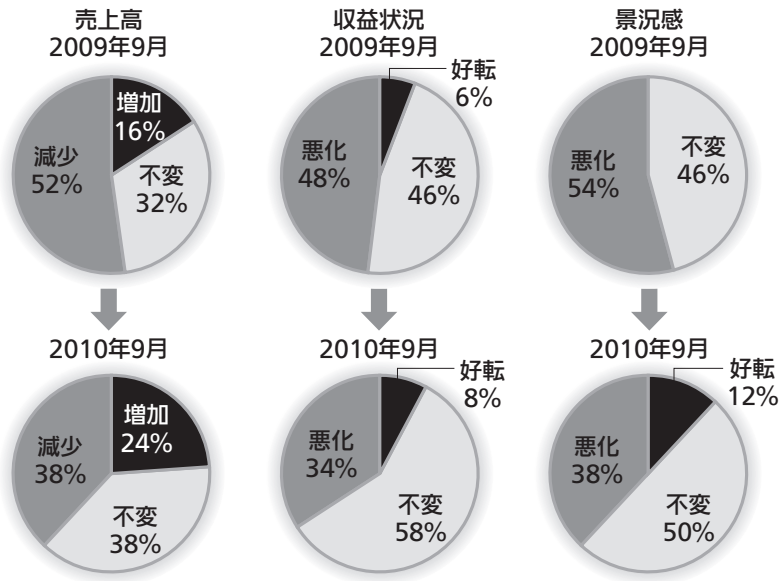
中小企業の厳しい経営環境は、依然として続いており、製造業、非製造業ともに先行きの不透明感と不安材料が増している状況が見受けられる。



データから見た

業界の動き

データから見た業界の動き (平成22年9月分)



トピックス

業界から一言

今回9月の調査は、8月に引き続き、円高による県内の中小企業や業界への影響について、前回以降の動向と現状、今後の懸念材料などを聞いた。主な業界の報告は次のとおり。

「輸入材(外材)は減少傾向(木材製品)」、「大手企業や下請企業の海外生産シフト進展は、零細企業の危機的状況を招くと懸念される」・「受注量の著しい減少がある」(一般機械器具)、「地金の高騰による商品単価の上昇」(宝飾・貴金属製造)、「外国人観光客の増減に大きく影響」(宿泊業)、「国内工場の海外移転と空洞化が加速し、自動車メーカー系の輸送が減少する」(運輸業トラック)

「輸入材(外材)は減少傾向(木材製品)」、「大手企業や下請企業の海外生産シフト進展は、零細企業の危機的状況を招くと懸念される」・「受注量の著しい減少がある」(一般機械器具)、「地金の高騰による商品単価の上昇」(宝飾・貴金属製造)、「外国人観光客の増減に大きく影響」(宿泊業)、「国内工場の海外移転と空洞化が加速し、自動車メーカー系の輸送が減少する」(運輸業トラック)

製造業

●「食料品(洋菓子製造)／猛暑の影響と消費マインドの低下からスーパー、専門店向けとも低調で売上は大幅な落

ち込み。今後は、コラーゲン等を使用した健康菓子に力をいれたい。

●「食料品(ワイン)／ワインリ

ーは10月に入るとワインヌーボーの製造が始まる。今年は原料のブドウが病気で不作。製造量が予定通り確保できるか、また価格面など不安材料がある。

●「繊維(同製品(織物)／婦人服地の引き合いは、初秋物の時期が短縮され、円高の影響もあり一時の活発さがなくなってきた。袖表は最盛期の70%程度であり、順調にオーダーは入っているが、原糸が不足している。傘関係にオーダーが入り出したが、ロット小さく、全体的に厳しい。

●「窯業・土石(生コン)／昨年に比べかなり数量が増加した。リニア、商業施設ほか、甲府地区の一部小中学校の体育館などが動き出したことが要因。しかし、峡北、峡西地区は著しく土木物件が減少。

●「一般機器／業種にもよるが、

リーマンショック以前に比べて、マイナス20%位の仕事量に戻ってきたが、価格面で2〜3割の値引があるため実質は55%〜60%の売上。

●「食料品(肉類)／夏の猛暑の影響で、豚枝肉価格が高値で推移。また、客足も乏しく、売上粗利共に減少。後半はBーリーグランプリ優勝の効果でとりもつの動きだけは顕著。

●「小売(水産物)／9月前半は8月の猛暑の後遺症で引き続き景気低迷感が強かったが、後半は天候が味方し、景気の下げ止まり感を実感。

●「小売(自動車)／新車購入補助金の打ち切りにより、足元の受注は前年比約40%にまで落ち込むと予想。

●「卸売(紙製品)／依然として仕入れ競争があり、利益率が低下している。尖閣諸島問題で輸出古紙関係に問題が出ることを懸念。

●「小売(青果)／天候不良、高温により野菜、果実が不作であり、入荷減少で高価格とな

っている。当分の状態が続く。

●「小売(食肉)／夏の猛暑の影響で、豚枝肉価格が高値で推移。また、客足も乏しく、売上粗利共に減少。後半はBーリーグランプリ優勝の効果でとりもつの動きだけは顕著。

●「小売(水産物)／9月前半は8月の猛暑の後遺症で引き続き景気低迷感が強かったが、後半は天候が味方し、景気の下げ止まり感を実感。

●「小売(自動車)／新車購入補助金の打ち切りにより、足元の受注は前年比約40%にまで落ち込むと予想。

●「卸売(紙製品)／依然として仕入れ競争があり、利益率が低下している。尖閣諸島問題で輸出古紙関係に問題が出ることを懸念。

●「小売(青果)／天候不良、高温により野菜、果実が不作であり、入荷減少で高価格とな

●「不動産取引／7月1日現在の基準地価格も18年連続下落で、かつ、横ばいの地点もなし。

●「宿泊業／尖閣諸島問題以降中国人観光客のキャンセルが相次ぎ、組合員合計で千人余りにもなり、キャンセル料も入らない状況。今後ますます中国人観光客の割合は大きくなるため、受け入れ態勢はもちろん、キャンセル料の契約も整備する必要がある。

●「設備工事(電気工事)／民間工事が例年に比べ落ち込んでいる。ハウスメーカーの受注は安値物件しか伸びておらず、一部の電気業者が対応しているが利益率は見込めない。

●「設備工事(管設備)／9月に入り工事が増加、それに比例して材料の売上も上がり、前年同期レベルまで持ち直すと思われる。

業界の声

上野原機械器具工業協同組合

理事長 小俣 精三氏

業界の現況は?

当業界の現況は、事業の再編や生産拠点の移行等により大きく変化してきています。

特に、リーマンショック以降の環境変化により製造業の仕事量は減少しています。また、円高の影響も伴い、各企業とも海外との価格競争等に追われています。

過去における、経済発展途上の日本のものづくりは、手先を技として優れた製品を生産していましたが、コストの削減、生産体制の自動化により、最近では新興国の発展に伴い、海外でも様々な機械が導入され、生産においては日本と同じ条件でものづくりが出来る状況にあるため、メーカー各社は現在の円高状況とも相俟って、海外からの安い商品を購入するといった傾向にあります。

このような状況の中、安定的な経済成長を維持するため手段として最新設備の導入や優秀な人材確保が不可欠とされている中で、構成員一丸となって企業を取り巻く環境整備や各種セミナー等を行い、個々の企業の経営強化に努力してまいります。

今後の展開は?

まず、当業界では前述のとおり円高の影響により、各企業とも海外との価格競争等に追われています。

このような状況の中、個々の企業の体質改善、生産性の効率化、優秀な人材の確保、新製品開発、後継者の育成等といった様々な課題を抱えています。

その中で、組合としては、このような様々な課題に対応すべく、各種セミナー等を開催しています。また、優秀な人材を確保するため、実際に現場体験をしてもらう研修会も開催しています。

その他、新製品開発と後継者の育成については、海外との差別化を図るため、日本ブランドとして価値のある新製品を開発し、その技術等を若者へ引き継ぎ、後継者を育成していきたいと考えています。

しかし、この経済状況の中で、若者達にどのような気持を持たせ、利点を与えていくのが今後の大きな課題となるでしょう。

今後、当業界としては、日本の将来を見据え製造業等のものづくりを活性化させていきたいと考えています。



製品開発を行う様子

A

C

T

I

V

E

K

U

M

I

A

I

中央会●会員組合活動紹介

農業まつりに 出展・業界組合をピーアール

ACTIVE KUMIAI

山梨県農業機械商業協同組合



出展風景

山梨県農業機械商業協同組合は、組合青年部が中心となり、10月16日17日（土・日曜日）の両日に甲府市の小瀬スポーツ公園の芝生広場で開催された農業まつりに出展した。当日は、農協や地域の農業者などのグループによる新鮮でおいしい農産物、加工品などの安価による販売、山梨県農業大学の学生などが精魂込めて作った野菜や花などの販売や、安全安心で美味しい県産食肉の試食・販売も行われた。

出展内容は、農機の展示や農業機械の購入・修理・点検は、「信頼の置ける技能士」がいる農業機械の専門店である組合加盟店のピーアール用チラシの配布と組合の共同購買事業で取り扱っているパナソニック社の「ソーラーパネル」「火災報知器」、鈴木油脂社の「機械の洗浄剤」、ジャスコ社の「草刈り機の刃」や芳賀ビニール社の「コンバインカバー」等の商品展示を行い組合員の販売促進に努めた。

農業まつりは、森林で育まれた山の幸や、木の温もりを感じる木工品など、森林の恵みを感じさせた「森林のフエスティバル」、地域のお店の商品や地域資源を活用した商品や技術など、地域の企業の魅力を照会した「商工会まつり」、参加業者が自信をもって提供する商品の即売や、県産食材を使ったメニューの試食など、山梨の魅力発信した「やまなしの県産品フェア」からなる、「ふるさと特産品フェア」の一環として開催されたため、多くの県民が来場し組合ブースも賑わい業界組合のピーアールに努めていた。



賑わいを見せる組合ブース

碎石場の安全確保のために 特別パトロールを実施

ACTIVE KUMIAI

山梨県山碎石事業協同組合



緑化対策を行い、元の山に戻す

10月15日、山梨県山碎石事業協同組合（千野進理事長）は、組合員企業の碎石場の特別パトロールを実施した。特別パトロールは、過去、碎石現場において岩石掘削中に地山崩壊による事故が発生、これをきっかけとして昭和63年以降、学識経験者や許認可権者の指導・助言を拝し、法令遵守の基に、組合員各社の碎石場の安全管理及び碎掘技術の向上を目的として、毎年春・秋の2回実施、今日まで組合員事業所において無事故・無災害が継続されており、非常に高い効果をあげている。

今回の特別パトロールは、組合の生産・安全委員会荒井義信理事・委員長が中心となり、学識経験者として山梨大学大学院医学工学総合研究部教授 工学博士の村上幸利氏、採石に関する許認可権者としての立場から山梨県森林環境部森林整備課 林地保全・採石担当者も参加。都留市内に現場を持つ、第一石産運輸株式会社及び有限会社上田屋商会对象に行い、一断面の碎掘高・勾配事業区域における作業場と外部との境の距離などの「碎掘状況」、堆積場の規模や管理状況・緑化対策などの「廃土石処理の状況」、排水路・沈殿池・場内水の処理方法など「汚濁水の処理状況」、製品の堆積状況・粉塵・飛石・騒音などを防止する「災害防止施設等の設置状況」など約20項目に渡る調査を実施した。



細かな調査が行われ安全が確保されている

現場での確認に加え、関係書類や現場の職員等への聞き取り調査を行うことで、各社の安全への取組が一層強力に行われる効果が生まれる。「慣れが一番の危険因子であることから、組合の定期的なパトロールでこれをつみ取ることができれば幸い」と小菅三郎専務理事は語っている。

「オリオン・スクエア」& 「ココリ」誕生!!

ACTIVE KUMIAI

甲府城南商店街振興組合



くす玉割り

甲府城南商店街振興組合（興石陽理事長）は、去る9月29日、これまで建設が進められてきた「ココリ」（甲府紅梅地区市街地再開発ビル）との合同でのランドオープンイベントが開催された。この「ココリ」には、ビル1階のテナントには婦人服や輸入雑貨店、携帯電話専門店など16店舗の入店する。2階には物販スペース「甲府菜市」、地下1階は食料品売り場と100円ショップ入店する。

中心商店街の再生へ向けて、「オリオン・スクエア」と「ココリ」が新たな一歩を踏み出した。

完成を祝つての竣工式を行った。甲府市中心街の「オリオン通り」の名称で長年親しまれてきた商店街が、「オリオン・スクエア」として生まれ変わり、「通り」から「広場」への誕生の瞬間となった。

完成した「オリオン・スクエア」は、従来のアーケードより3m高い地上高9mのガラス張りの屋根で、長さは約57m。最大2kw発電できる16枚の太陽光発電パネルや、発光ダイオード（LED）照明など、環境への負荷を抑えるための設備が取り付けられている。イベント用のライティングや放送設備も設置した。アーケードを支える柱には、県立宝石美術専門学校の学生がデザインしたジュエリー絵画が飾られている。

また、10月22日には、オリオン・スクエアとともに建設が進められてきた「ココリ」（甲府紅梅地区市街地再開発ビル）との合同でのランドオープンイベントが開催された。この「ココリ」には、ビル1階のテナントには婦人服や輸入雑貨店、携帯電話専門店など16店舗の入店する。2階には物販スペース「甲府菜市」、地下1階は食料品売り場と100円ショップ入店する。



ココリ正面入口

TOPICS

TOPICS

TOPICS

TOPICS

山梨県中小企業団体中央会女性部会

伝説のマナー講師 平林先生を招き、県大会を開催



山梨県食品工業団地協
清水万里子さん

山梨県中小企業団体中央会女性部会（矢澤ひろ子会長）は、10月12日甲府市湯村「甲府富士屋ホテル」において『笑顔で開こう 未来のとびら』をテーマに第11回県大会を開催し、県内の女性経営者、経営者パートナー、組合の女性役員など約100人が参加した。

県大会では、来賓として出席した山梨県商工労働部の末木一浩次長が「皆さんの笑顔で山梨県の未来を開いて下さい。」と応援メッセージを送った。

続いて、経験発表では、山梨県食品工業団地協同組合の清水麻里子さんが、



㈱エレガント・マナーズクール 平林都先生

勤続25年を振り返って「仕事の都合で、子供達の授業参観などに行ってあげられなかった時は、負い目に感じたが、成人した子供達からお母さんのようになりたいたい。」と言われたときは、感無量で涙が止まらなかった。」など、仕事と家庭、子育ての両立について語った。

また、組合の活動発表では、山梨県化粧品小売協同組合女性部の渡辺真弓部長が、組合活動が低迷している中、女性の視点や行動力で組合オリジナル商品である「KIRYO」の販売促進を展開し、共同販売事業の活性化や独自のイベント、新サービスなどの取り組みを行っている事例について実演を交えながら発表した。

特別講演は、㈱エレガント・マナーズクールの平林 都学院長を招き、「出会いを感動に変えるための接遇術」と題して講演会を行った。

平林先生は、「笑みを浮かべてトゲを刺す平林でございます。」と自己紹介のあと、「接遇に外見や年齢は関係ない。接遇が出来れば、誰しも幸せになれる。」と語り、接遇の極意については、「言葉、表情、行動が重要。相手にハッキリ伝わらなければ接遇ではない。また、言葉は敵にも味方にもなる。味方にするかで状況が変わる。」と、熱く語り、出席者は熱心に聞き入っていた。



山梨県化粧品小売協女性部
渡辺真弓部長

平成22年度農商工連携等人材育成事業 農商工連携ナビゲーター人材育成講座が開講

山梨県中小企業団体中央会は、9月28日山梨県JA会館において、農商工連携ナビゲーター育成講座の開講式を行い、第1回の講座がスタートした。

「農商工連携」は、農業者と商工業者が相互にアイデアやノウハウ、技術などを提供し合い、協力して新製品や新しい販路、サービスの開拓などの様々な取り組みを共同で行うことを推進するもので、国内では近年、大きな注目を集めている。

開講式では、主催者を代表して新海専務理事があいさつを述べ、出席した受講生を激励した。

講座初日は、「事業の目的と意義」「これからの日本の農業」「農業の動向と課題・農業関連施策」などをテーマに山梨県総合理工学研究機構総長で東京大学名誉教授の小林正彦氏や農学博士の眞浦正徳氏、JA山梨中央会農業振興部次長の足立郁也氏などによる講義が行われた。

農商工等人材育成事業は、中小企業庁から委託を受けた全国中小企業団体中央会が、事業実施機関の公募を行ったもので、当中央会は5月に採択を受け、7月中旬より具体的な事業をスタートした。



今回のナビゲーター講座には29名が受講する



山梨県総合理工学研究機構総長(東京大学名誉教授)がこれからの日本の農業について語った。

ターゲットとしたところである。

今回開講したナビゲーター育成講座は、地域産品や農産物などの地域資源と経営戦略のノウハウとの融合により、付加価値の高い商品を作り出し、新しいビジネスモデルに取り組みもうとする農業者や中小企業事業者などの円滑な連携と効果的なマッチングの推進を行っていくために必要な「農業とビジネスを繋ぐ」人材育成を目指すもので、当初計画の募集定員を上回る29名が受講する。

受講生は、大学生、創業予定者、農業者、農産物直売所の関係者、様々な業種の中小企業経営者・自営業者、中小企業診断士、コンサルタント業など業種、職種が多岐にわたっており、年代も幅広い。また、この講座の特徴として女性の受講者も多く、「農商工連携」に対する関心の高さが伺える。

育成講座は、座学講習とワークショップなど36時間と実地研修(先進地視察・現地実習)の12時間の計42時間で構成され、座学と実地研修合わせて24時間以上の受講生には修了証書が渡される。また、このうち希望者は全国中央会のWebサイトに専門指導者として登録され、他で実施される農商工連携の支援に携わる門戸が広がる。

今後は、来年1月中旬までに座学全8回(17講座)と実地研修2回を実施し、商品流通の仕組み、マーケティングの手法、IT活用、ブランド戦略など多くの専門分野のテーマが予定され、ロールプレイング、ワークショップ形式での講義も行う。

やまなし特産品出展者協議会

特産品出展者協議会の総会・研修会を開催



あいさつをする
武田出展者協議会会長

やまなし特産品出展者協議会は、10月20日に平成22年度の通常総会、研修会、交流会を開催した。

当協議会は、会員相互の情報交換と連携に基づいた各事業を実施することにより、中央会の行う県産品の販売促進事業の円滑、かつ、効果的な推進に寄与することを目的に、昨年の9月に発足し、現在、14団体、41企業の計55団体、企業が加入している。

総会には、委任状出席を含め48団体・企業が出席し、平成21年度事業報告・収支決算、平成22年度事業計画・収支予算、役員変更、加入金の額及び徴収方法が審議され、全議案とも原案のとおり全員異議なく可決・決定した。

また、22年度の新規事業として、県内外のスーパー・デパート等の新たな販売チャネルの開拓や、海外における



参加者が熱心に耳を傾けた研修会場

販路開拓などの調査研究を実施することを決定した。

総会終了後、30名を集めて研修会を行った。

農林水産省表示・規格課フード・コミュニケーション・プロジェクトチームの橋本賢之氏を講師として「新たな販促手法の活用を!!」をテーマに研修を行った。橋本氏の講演内容は次のとおり。

食品業界全体の流通の複雑化に伴い、食品に関する事件、事故の増加により食品全般に対する消費者の信頼度は低下してきている。消費者の食品を見る目は厳しくなっている。食の安全に対する関心は高まっており、信頼度の醸成が急務となっている。

「フードコミュニケーションプロジェクト（FOOD COMMUNICATION PROJECT）（FCP）」は、まだ聞き慣れない言葉ではあるが、農林水産省が消費者や食品関連事業者の食に関する信頼度を醸成するために始めた事業。

具体的には、次の項目を実施するもの。

「展示会・商談会シート」の導入

展示会・商談会シートを開発。統一したシートの利用により食品事業者（供給者）、バイヤー等（需要者）の便宜を図る。商談会シートは各地の展示会等で利用されてきており、ターゲットや利用シーンの明確化による効率的な商談が期待出来る。

「ベーシック16」の導入

食品事業所の企業としての基本的な姿勢、行動基準を明確化し、業務を再点検。事業者同士、消費者の信頼を構築しようとするもの。「協働着眼点」大項目16の分野で構成されている。

各種項目を統一シートにより作成することにより、事業所の見直しや改善点が明確となり、他社との比較で自らの問題点に気づくことも可能となる。

取引先の開拓の際に自社の取組みを理解してもらえ、同時に、商談会シートにも記載できる。消費者との信頼を築くための項目を確認できる。

「工場監査項目」の導入

工場監査シートの統一化により、業者間の利便性が向上し、業者間の利用が高まる。

実際は各種取引（商談）のための資料を記載したシートは、企業によって異なっている。統一商談シートの採用は、展示会や見本市などバイヤーにとっては、理解しやすいと同時に他者との比較も可能となり利用価値は高い。

主にこれら統一化した3様式・項目は企業の大小にかかわらず、食品関連企業に導入してもらいたい。

食品事業者（主に加工食品）が主体的に企業内容を公開することで、消費者や取引先の信頼性の向上に結びつけることが可能となる。これら企業活動を通して消費者や業者間の信頼を得ることにより、自らの商品の販売促進に役立ててもらいたい。



講演する橋本氏

- FCPの詳細・問合せ先
ホームページ <http://www.food-communication-project.jp>
- 農林水産省 消費・安全局 表示・規格課 フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局
TEL 03-6744-2397
Email: fcp_jimukyoku@nm.maff.go.jp

情報BOX

組合課題対応集中指導事業

対象組合募集!!

問題解決に挑む組合の「やる気」を支援します。

中小企業にとっては、厳しい経営環境が続いており、先行きへの不安感は、組合事業へも大きく影響を及ぼし始めています。

『健全な組合運営の維持・基盤強化』や『事業の活性化』は多くの組合の共通課題であり、その根底には業界が早急に対応すべき課題もあります。

この事業では、組合や業界が直面する様々な課題のうち組合による取り組みによって効果が期待できる「課題」を講習会・個別指導・視察研修・診断などと組み合わせ、専門家によるアドバイスを受けることが出来ます。

支援の概要と要件

1. 対象：専門家等を活用して直面する課題に取り組む組合
2. 対象経費及び助成限度額：
専門家謝金・会場借料・車両借料などに要する経費の2/3（上限100,000円）までは中央会が負担します。
3. 実施完了期日：2011年1月末日までに事業完了

今が取り組みのチャンスです



■事業の詳細は、担当指導員又は下記までお気軽にお問い合わせ下さい。
山梨県中小企業団体中央会 連携支援課 TEL.055(237)3215 FAX.055(237)3216

中小企業や新しく事業を始められる方をはじめとするみなさまの夢の実現、お手伝い。

日本政策金融公庫 国民生活事業は、中小企業をはじめとするみなさまのための政府系金融機関です。

中小企業のみなさまへ

国の事業ローン

新たに事業を始められる方へ

新規開業ローン

お子さまが入学・在学される方へ

国の教育ローン

お問い合わせは

JFC 日本政策金融公庫

甲府支店 国民生活事業
〒400-0031

甲府市丸の内2丁目26番2号

TEL055-224-5366（お申込み相談）

日本公庫

検索

山梨県中小企業団体中央会女性部会

レディース中央会全国フォーラムに参加

熱い議論に心を打たれた。皆さんの柔軟な発想や行動力こそが、未来を変えると実感した。」と感想を述べた。その後、参加者が地域を越えてテーブルを囲み、情報交換や親睦を深めた。来年は大阪での開催が決定された。



参加者のみなさん

交流会に先立ち、各分科会報告が行われ第一分科会総括の深澤紗世子全国レディース中央会副会長(山梨県女性部会名誉会長)が、「各地域における事例発表と」

から15名、全国から約250名の女性経営者、経営者夫人、組合の女性役員が参加した。講演では、『今後の日本経済 社会と女性が担うべき役割』と題し、財団法人大宅壮一文庫理事長 大宅映子氏が、「豊かになりすぎた日本は、貧しくなっていく。今こそ、自分自身に何が必要なのか。また、学校では教えてくれない家族愛、家庭生活が、工夫や知恵の源になる。」と、女性が果たす役割の大きさや家庭、社会に与える効果など、女性が生む力の大きさについて語った。



第1分科会報告をする
深澤紗世子名誉会長

9月28、29日の両日、平成22年度『レディース中央会全国フォーラム in Tokyo』が東京都港区「ANAインターコンチネンタルホテル東京」で開催された。本県

朝日の昇らぬ夜はない。

私たちのトラックは、どんな嵐が来ても走り抜けていけば、きっと明日が来ることを信じています。

それは、国内輸送の9割以上を担っているという責任があるから、日本の経済と豊かな生活を支えているからという自信があります。

だから、私たちは常に努力しています。安全に、確実に荷物を届けるために、「車庫用自動車検査システム(2009)」など最新の安全対策やコンプライアンス教育を徹底。また、おかげさまでない職場を築くために「アライメントストップ運動」や「働き方改革の導入促進」などにも積極的に取り組んでいます。

しかし、世界的な不安による先の見えない情勢の中にもたもたもいます。原油高騰による燃料費の急激な増加、雇用状況の悪化など、運賃の値下げ要請など、次々と押し寄せる困難は中小企業が大多数を占めるトラック業界にとって、企業存続の限界を超えるものとなっています。

それでも、私たちが走り抜けるのは、みんなが望めば日本経済は立ち直れると信じているから、日本は元気になると信じているからです。必ず明日は昇るから。

がんばれ日本!!

環境に優しいトラックが つなぐ人の輪 未来の輪

(平成21年度 環境標語 最優秀賞)

(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

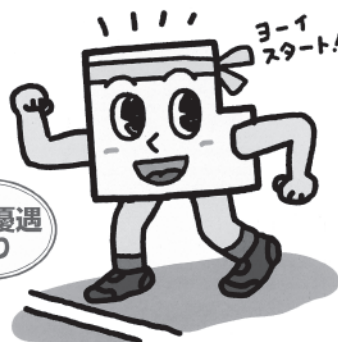


山梨中央銀行

www.yamanashibank.co.jp/

山梨中銀 創業支援ローン

ファインスタート



金利優遇あり

- 最大1,000万円
- 無担保でのお取扱い
- 第三者保証人不要

※審査結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめ御了承ください。

くわしくは山梨中央銀行の窓口
またはフリーダイヤルへどうぞ 0120-201862 (受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
ただし、銀行休業日は除きます。)

情報BOX

DREAM-MATCH PROJECT (ドリーム・マッチ プロジェクト)

経済産業省からの補助を基に、中小企業の人材確保・育成支援を行っている日本商工会議所は、「DREAM-MATCH PROJECT(ドリーム・マッチ プロジェクト)」「(委託先:㈱リクルート)」として、新卒採用に苦戦する中小企業と学生をマッチングさせる取組を行っています。

内 容

「DREAM-MATCH PROJECT」では、企業が求人票を登録するだけで学生との面談が手間をかけずに設定されるWEBサービス「DREAM-MATCH NAVI(ナビ)」と、イベント(合同説明会)を通じて学生との面談・選考が行える「DREAM-MATCH LIVE(ライブ)」の2種類のサービスがあります。

対 象 者

2010年4月～2011年3月卒業・卒業予定の日本全国の大学生、大学院生、短大生、高専生、専門学校生(海外学校を含む)及び、2010年3月卒の既卒者(現在、約4万人近くの登録があります。)

対象企業

2011年3月卒の新卒採用予定がある企業、従業員数1,000人以下の企業、その他条件があります。

利 用 料

無料(ナビ・ライブともに)

留 意 点

イベント(合同説明会)「DREAM-MATCH LIVE」について追加開催が決定しました。(東京では、12月12日(日)に東京ビックサイトで開催されます。)
サービスの詳細、申込みは以下のURLをご覧ください。 ▶ <http://dream-match.jp>

DREAM-MATCH PROJECT(ドリーム・マッチ プロジェクト)のお問い合わせ先
DREAM-MATCH PROJECT事務局(㈱リクルート内) Tel.03-5365-2111 (9:00～18:00)

労使の協力で、労働時間を 適正化しましょう。

労働者の健康を損ない過重労働はいけません。労働基準法に違反する賃金不払残業も許されないことです。労使が協力し長時間労働を抑制しましょう。

11月は「労働時間適正化キャンペーン」期間です。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

訃報

当会 事務局長 故飯野鉄夫儀 去る平成22年9月30日享年59歳にて逝去いたしました。謹んでお知らせいたします。生前の当会運営に関するご尽力に対し心より感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

なお、ご葬儀は平成22年10月3日アピオセレモニーホール甲府にてしめやかに執り行われましたことを報告いたします。ご連絡漏れ等不手際の段、ご容赦下さいます様お願い申し上げます。

インターンシップ体験記

●山梨学院大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科
3年 川野 智郁

私は、8月16日から20日の間で山梨県中小企業中央会のインターンシップを受けさせていただきました。今回のインターンシップを通じて、自分自身が大きく成長できたと思います。今まではアルバイトを通じてある程度社会のことを理解してきたと思いこんでいましたが、それは間違いだということに気がつきました。レクチャーを受けたり、巡回に同行させていただくなかで、各業界の方々のそれぞれの仕事の大変さや、やりがいを知ることができたと、自分がこれから何をしなければいけないのか、何を考えるべきなのか等がだんだん見えてきた気がします。

これから、本格的に就職活動が始まりますが、今回インターンシップで得た経験や知識を活かして頑張っていきたいと思っています。私に成長の機会を与えてくださった中央会の皆様、また各業界の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。5日間、本当にありがとうございました。



インターンシップ体験記

●帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科
3年 藤永 真央

8/30～9/3の5日間、山梨県中小企業団体中央会でのインターンシップに参加させていただきました。山梨県の経済活性の取り組みを通して社会がどう動いているのか、それだけでなく、就職先の選拓法、社会人としてのあり方やマナーなどを学ばせていただきました。

学校の授業では習っていても、あまり身近に感じられなかった経済が身近に考えられるようになり、どんなに小さな企業でも「さまざまな人たちに支えられ繋がっている」ということを感じることができました。企業の方々に実際にお話を聞き、仕事に対する誇りや姿勢を感じ、就職に対する意識が変わったのを実感しています。人前に出るのが苦手で、社会に出てちゃんとやっていくことができるのか不安だった私に、さまざまなアドバイスを与えてくれたり、知識のない私に丁寧に教えていただいたりと暖かく受け入れてくださりありがとうございました。今後就職活動をしていく中で、この研修で学んだマナーや仕事に対する姿勢を身につけ、「なりたい自分像」へなれるように努力していこうと思います。

最後になりましたが、指導していただいた中央会の皆様と、企業の方々にはたいへんお世話になりました。お忙しい中たくさんのご指導をいただきありがとうございました。



第14回 中小企業団体新春交流会のご案内

開催日時 平成23年
1月12日（水）
16:00～18:00

開催場所 アピオ甲府
中巨摩郡昭和町西条3600

内容 式典 ▶ 16:00～16:40
交流会 ▶ 16:40～18:00

多数のご参加をお待ちしております。

シニア就業支援プログラム事業

55歳以上で雇用就業・社会参加を希望する高年齢者に地域ネットワークと連携して支援します。

シルバー人材センター連合会へ登録



企業・事業主

- ワークショップ（職場体験、ボランティア、シルバー就業体験等）
- 就業支援講座

日時	会場	講座内容
12月15日（水） 13時30分～	富士吉田シティホテル	高年齢者の就職にむけて

*詳しくは下記までお問合せ下さい。

（社）山梨県シルバー人材センター連合会

〒400-0355 甲府市飯田3丁目3-28
Tel.055-228-8383

山梨県中小企業団体中央会 「業務災害補償制度」のご案内



業務災害補償制度の特徴

- ◆ 全国中小企業団体中央会のスケールメリットによる低廉な掛金（一般加入と比べ最大約46%割引の掛金水準（団体割引20%、優良割引25%））
- ◆ 労災賠償に備える「使用者賠償責任保険」を標準セット
- ◆ 政府労災保険の給付を待たずに保険金のお支払いが可能（政府労災保険への加入が必要。使用者賠償責任保険は給付決定後の支払いになります）
- ◆ 契約は無記名式。短期労働者やパート・アルバイトも包括補償
- ◆ 掛金は売上高で算出OK 掛金は全額損金算入可能

保険期間は2010年10月1日～1年間、中途加入は毎月受付しています。加入月の翌々月1日から補償開始されます。本内容は業務災害補償制度の概要を示したものです。実際の加入および詳細は引受保険会社の約款、パンフレット等に準じます。

お問合わせ先
東京海上日動火災保険株式会社 山梨支店
TEL.055-237-7680（代表）
お見積り、ご加入手続は引受保険会社にお問合わせください。

制度引受保険会社
東京海上日動火災保険株式会社
制度運営 全国中小企業団体中央会

「けんみん信組 ビジネスローン」

事業者向けローン

ご融資期間
最長5年!!

ご融資金額
50万円～
最高500万円!!

スピード
審査

ご利用いただける方

- 原則として業歴2年以上の法人（協同組合は不可）および確定申告を行っている個人事業主
- 農林水産業の方も申込できます。（但し、業種によっては受付出来ない場合があります）
- アイフル株式会社の保証が得られる方
※詳しくは、窓口または営業係までお気軽にご相談ください。

けんみんのグッドパートナー

YKS 山梨県民信用組合

甲府市相生1丁目2-34 TEL055-228-5151
http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp